

■■メールマガジン「静岡県防災」第53号■■

～ 「空振り」ではなく「素振り」と受け止めたい ～

8月8日の日向灘の地震では、16時42分にマグニチュード7.1の地震が発生しました。その後17時に南海トラフ地震臨時情報調査中が発表され、臨時に南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会が開催されました。

評価検討会では、今回の地震のモーメントマグニチュード、震源の位置や地震のメカニズム、ひずみ計の状況などを調査の上、巨大地震の発生に注意が必要とされる南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を19時15分に発表しました。国や地方公共団体は、この情報を受け、「日頃からの地震の備えを再確認」するよう住民、企業に呼びかけました。

この呼びかけは、地震活動や地殻変動に変化が見られなければ、最初のM7.0以上の地震が発生してから1週間となる168時間経過した以降の正時までの期間継続されるとされており、今回の地震では8月16日の17時をもって呼びかけが終了しています。

電車の減速や運行停止、一部海水浴場の閉鎖、飲料水や食料品の需要が高まる等がありました。大きな地震は発生しませんでした。

2011年3月11日の東日本大震災の2日前の3月9日には、マグニチュード7.3の地震が東北地方太平洋沖で発生しています。内閣府（防災担当）の「一日前プロジェクト」では、「2日前には逃げたのに・・・」というお題で、3月9日に津波が来なかったため、11日に逃げなかったという悲しいエピソードが掲載されています。あくまで「タラレバ」ですが、今回の臨時情報の社会的な緊張感が、当時もしあったならば、どれだけの人が命を失わずに済んだだろうと考えてしまいます。

報道では「空振り」という表現も見られましたが、「空振り」という言葉は、「ある目的をもってとった行動が、当てが外れて失敗すること」です。南海トラフ臨時情報は予知を目的としたものではありませんし、地震はないに越したことはないため、そうした意味では適切な言葉とは言えないようにも感じます。

今回の臨時情報では、多くの方が日ごろの備えを確認されたと思います。そういう意味では「空振り」ではなく、災害対応力をつける為の「素振り」と受け止めたいと思います。

皆様はどのように受け止め、どのように行動されたのでしょうか？

県では今回の臨時情報の発表を受け、県民の皆様がどのような行動をとられたのかインターネットによるアンケート調査を9月10日（火）まで実施します。ご協力頂けますと幸いです。

●アンケート URL

<https://www.pref.shizuoka.jp/bosaikinkyu/sonae/1040807/1065888.html>

●一日前プロジェクト

<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/sgs/jt.html>